

# 人権意識が根づくまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。  
 市人権政策課 ☎43・8129、ファクス43・3168



## さまざまな人権課題を解決していくために②

誰もが快適な居場所があり、笑顔で安心して暮らせる社会をつくることに反対する人はいます。偏見や差別に苦しむ人たちが絶えないのはどうしてでしょうか。その一つの要因として「アンコンシャスバイアス（無意識な偏見）」や「マジョリティ特権（多数派の意識されない権利）」といわれるものがあります。

例えば、黒人への差別をしないと言いながらも、無意識の内に「黒人は貧しい」とか「犯罪率が高い」ことに何の疑問も抱か

ずに信じてしまうことはありませんか。また、自分が性的マジョリティ（多数派）に所属していることで、婚姻へのプロセスがスムーズであったり、入籍した夫婦が持つ法的な権利を何の障害もなく享受していたりすることは、気付きにくいものです。これは、自動扉と、きしんで開けづらい扉に例えられます。多数派側は、さまざまな行動をするために立ち止まる必要はなく自動で扉が開き、何のストレスもなく通過することができ、マイノリティ側（少数派）は、何かの行動を起こ

すたびに障害が発生し、立ち止まり、自らの力で扉を開けなくてははいけないということ。日常生活で生活している多数派側の意識にこのような問題があるから偏見や差別はなくなるらないと、非難しているのでは。ありません。人権課題に向き合うために、この何気ない生活を振り返り、少数派側に立つて考えることは、とても大切なことではないでしょうか。少数派の人たちにとって優しい社会は、きっと全員にとって優しい社会、ききな社会に違いありません。

# 乳幼児の子育てわいわわ

笑って「話」して「和」んで子育ての「輪」を広げませんか。ぜひご利用ください。

## ①おもちゃ病院

大好きなおもちゃや思い出の詰まったおもちゃ、かつて保護者が遊んだおもちゃなどで壊れたおもちゃはありませんか。ドクターが診察して修理します。  
 日 12月16日（金）午後1時～午後3時 ※毎月第3金曜日  
 場 市子育て支援センター  
 費用 1つにつき100円 ※部品代が別途必要

## ②あいあいタイム

マットやトランポリンなどの遊具を組み合わせ、サーキットのコースを室内に作ります。体を思い切り動かして、遊ぶことができます。予約が必要です。  
 日 令和5年1月11日（水）午前10時30分～午前11時30分  
 場 市子育て支援センター 定 先着10組

## ③育児講座「箱椅子作り」

子ども用の箱椅子を作ります。机や踏み台、絵本棚などにも使える便利な椅子です。愛情を込めて作りませんか。予約が必要です。子どもは参加できません。  
 日 令和5年1月21日（土）午前10時～午後3時  
 場 市シルバー人材センター 定 先着10人  
 材料代 3500円

②③の受付開始日 12月1日（木） ※③の申込期限は令和5年1月13日（金）  
 ①②③の市子育て支援センターなかよし ☎35・8382

日=日時、日程 場=場所 対=対象 定=定員 講=講師 問=受付、問い合わせ

市は、乳幼児の子育てを応援しています。みんなで手を取り合って健やかな子どもを育てましょう。こどもの国ホームページでは市内の子育て施設やサービスなどを紹介しています。



▲こどもの国ホームページ

問 市子育て支援センターなかよし ☎35・8382



▲おさかな、どこにつけようかな

9月はサーキット遊びと絵の具を使って水族館を作り出した。サーキット遊びでは、トンネルをくぐったり、親子でマットを転がったり、どの遊具も順番を守りながら楽しんでいました。

次に、大型絵本を見た後、絵の具遊びをしました。台紙を水槽に見立て、割りばしと綿で作ったタンポを筆のように使い、絵の具を付けていきます。タンポでトントンとたたかたばに模様広がるのが、楽しくてたまらない様子。トントンとあぶくを作った後は、魚を作ります。おうちのひとと相談して目を作っていました。できた魚と海藻を水槽にのり付けて完成です。水草を水槽の下に向かって生やす子もいて個性的な水族館ができました。自分の作品を友達やおうちのひとに拍手で褒めてもらった時のうれしそうなお顔が印象的でした。

「ともだちタイム」は友達と過ごす中で影響を受けた、一緒に過ごす楽しさを味わったりする時間となっています。興味のある人は、参加してみてください。

「ともだちタイム」に参加しませんか？

市子育て支援センターでは、市内の2・3歳児を対象に1、2カ月に1度、予約制で「ともだちタイム」を開催しています。大型遊具で体を動かすサーキット遊びや、ルールのある遊び、簡単な製作など、家庭では経験できない遊びを楽しめる催しです。

# 12月のイベント案内

- おはなし会**  
 木曜おはなし会0・1・2（2歳児以下）  
 日 8日（木）午前11時～午前11時30分  
 お日さまのうたサークル  
 日 10日（土）午後3時～午後3時30分  
 福岡津屋崎子ども劇場おはなしの国  
 日 15日（木）午前11時～午前11時30分  
 ふくつ語りの会  
 日 17日（土）午後2時～午後2時30分（幼児～小学校低学年）、午後2時40分～午後3時10分（小学生～大人）  
 日曜おはなし会（3歳児以上）  
 日 毎週日曜日午後3時～午後3時30分

※状況によって開催を取りやめる場合があります。イベントの際、体温測定を行います。また、途中参加はできません。



# 運命の一冊

図書館の今月のおすすめ  
 一冊の本が、ひよっとしたらあなたの人生を変えるかもしれません。紹介している本以外にも、約20万冊の本がある市立図書館に、運命の一冊を見つけにきませんか。  
 市立図書館 ☎42・8000

- DVD**  
 「カカ・ムラドゥ」中村哲の信念〜テレビ西日本制作  
 白衣でなく作業着を着て、遙か遠くアフガニスタンの乾燥した大地に水と緑をもたらした中村哲医師。その信念に迫ります。
- 小学生向け**  
 「なぜ親はうるさいのか」田房永子著 筑摩書房  
 どうして親は過干渉になるのか。自分が「イヤだった出来事」について、中高生の自分、大人・親になった自分の視点で徹底的に考えた本。
- 中学・高校生向け**  
 「なぜ親はうるさいのか」田房永子著 筑摩書房  
 どうして親は過干渉になるのか。自分が「イヤだった出来事」について、中高生の自分、大人・親になった自分の視点で徹底的に考えた本。
- 一般書**  
 「幸せの列車に乗せられた少年」ヴァイオリニスト ニューマン文 音楽之友社  
 第2次世界大戦後のイタリアの社会活動「幸せの列車」。それに乗った7歳の少年の目を通して、貧困、親子問題などユーモアを交えて描く。

